

第2回峰上地区保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年3月21日（火）19:00開始

2. 会場 峰上地区公民館

3. 教育部参加者

岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、大畑教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事

4. 保護者参加者 11名

5. 会議録

進行：教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
	4 天羽中学校校舎改築について説明
能城部長	天羽中と富津中の校舎建設の検討につきましては、平成14年度におこなわれ、総合的に判断された中、富津中の改築を優先し実施されることとなり、平成19・20年度で富津中学校の改築がおこなわれました。 そういった中、国は、平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を受け、小中学校の耐震補強につきましては、平成20年6月に改正された地震防災対策特別措置法により、学校設置者に耐震診断の実施及び結果公表の義務付けがなされ、全ての小中学校の耐震補強を優先することとなり、天羽中学校の改築は先送りされ、市内小中学校の耐震補強工事は、平成25年度をもって全て完了したところでございます。 その翌年、平成26年度に皆さんもご承知のこととは思いますが、財政破綻報道があり、その後市の経営改革を進める中、平成27年8月に出された中期収支見込に、教育環境の改善が急務であることから、やっと今まで先送りされていた天羽中学校の大規模改修、これは現在の校舎を利用して改修を行うものですが、その予算が計上されたところでございます。 天羽中学校が大規模改修とされた経緯につきましては、平成26年に文部科学省から出されたインフラ長寿命化計画により、これまでの建て替え中心から長寿命化への転換による今ある建物を利用した改修方針に沿ったものでございます。 そのような経緯から天羽中学校につきましては、当初現在の場所で大規模改修を予定しておりましたが、今年度実施いたしました、耐力度調査の結果、耐力度が基準値に達していない、これは大規模改修に適さない危険な状況と判断されたことから、今回、大規模改修ではなく改築、新しく建て替える計画とされたところでございます。

鶴岡課長	天羽中学校校舎の整備計画（案）について、ご説明申し上げます。 天羽中学校校舎の整備については、既存敷地内での建て替え、既存校舎の大規模改修、移転新築について検討いたしました。 1つ目は、既存の校舎2棟を解体し、現在の敷地内に新たに適正規模の校舎を建築する計画（案）です。 この案では、設計から整備完了までの期間を3年間、概算事業費については、15億円程度と試算しました。 2つ目は、既存校舎を大規模改修する計画（案）です。 事業期間は3年間、概算事業費を12億円程度と試算しました。 3つ目は、新たな場所へ移転し、新築する計画（案）です。 この案では、移転先地の選定、用地買収、敷地の造成工事や校舎以外に体育館等の建築も必要になりますので、事業期間は7年以上、事業費は24億円以上と試算しました。移転、新築の場合の事業費については、移転する場所によって用地取得費や必要となる道路等インフラ整備などにより、事業費が更に増加することが予想されます。 現在の用地内で校舎を整備する場合、説明会で保護者や地域の方からご指摘、ご要望があった道路や排水を併せて整備する必要があると考えています。 3つの整備（案）については、事業期間、概算事業費、生徒の学習環境、建築後の維持管理費など総合的に検討した結果、既存校舎の大規模改修（案）が一番安価となりますが、既存校舎の構造躯体が経年劣化により耐久性が低下しているため、大規模改修する案については、望ましい計画と言えないと評価しました。 移転、新築（案）については、移転先の選定や用地買収、造成工事、校舎以外に屋内運動場や武道場などの建築等、事業期間や費用が膨大になること、又、関連するインフラ整備が必要になる可能性もあることなどから、実現性が低く、望ましい計画とは言えないと評価しました。 改築計画（案）については、既存校舎の大規模改修計画（案）に比べ概算事業費が3億円程度高くなること予想されますが、大規模改修に比べ、建築後の維持管理費の抑制が見込まれること、多様な学習環境に対応する機能も合わせて整備できることなどから、現在の存敷地内で新たに適正規模の校舎を建築する（案）が最も望ましく、実現性の高い計画であると評価しました。 改築の場合も国の補助金の活用が見込まれますので、少しでも市の持ち出しが少なくなるような事業メニューを検討していきます。 改築（案）を進める場合は、平成29年度に基本・実施設計、地質調査を実施し、平成30年度に既存校舎の解体、平成30年度、31年度に改築工事を実施し、平成31年度末完成を目標とした計画になります。又、道路整備については、早期事業化に向け、進めて参ります。 以上で説明を終わります。
鈴木主幹	以上で説明が終わりましたが、何か質問やご意見ございますか。
須藤主幹	「アンケート結果及びQ&A」について説明
保護者	6. 質疑 スクールバスは関豊方面から最大40分かかる。トイレに行きたくなったらどうするのか。改築後の天羽中の外観はどうなるのか。

今井課長	中学生は 40 分ならば我慢できると思うが、環小等を考えていく。
鶴岡課長	校舎については、保護者、教育委員会等で検討会議を組織し考えていく。木造等も含めて予算の範囲で検討していく。
保護者	スクールバスは現在、下校のときは 2 便だが、関豊・田倉方面の子どもは学校で待っている。便数を増やしてほしい。
今井課長	生徒数の変化などによってバスの大きさや便数について検討していきたい。
保護者	環小も湊小の再配置と一緒に行えば、スクールバスも充実するのでは。
今井課長	未就学児の保護者の考えを調査・把握し、環小については検討していきたい。
保護者	Q104 の部活動に対する不安がある。3 年生ではなく、もっと早く一緒に活動したい。
今井課長	部活動は合同練習等による交流を考えたい。天羽中には男子のソフトテニス部がない。統合しても天羽中の職員数は増えないので、一定のルールの中で検討したい。
保護者	スクールバスの乗降場所に環小があれば、そこに迎えに行くこともできるし、環小で学習して待つことができる。
今井課長	乗降場所は安全が確保できる場所を考えている。皆さんの意見を出してほしい。子どもは毎年変わるので、毎年検討していきたい。
保護者	環小に学童はないが、学童ができれば安心である。
今井課長	学童保育は大切である。子育て支援課で検討材料としていく。
保護者	スクールバスの停車場所に駐輪場を作してほしい。
今井課長	現時点でバス停まで 2 km の子どももいる。道路状況もあるが、場所によっては駐輪場が整備できるよう努力したい。
保護者	例えば関豊小に学童ができた場合、環小の児童がスクールバスで関豊小へ行くことができるのか。
今井課長	スクールバスで対応することは可能である。
保護者	天羽中の生徒が湊小を間借りしているときの、生活についてもう少し詳しく教えてほしい。
須藤主幹	Q & A の 31 ページ Q167 にあるが湊小の空き教室を活用して生活していく。部活動は湊小のグラウンドや体育館、天羽中の体育館や武道場、グラウンドの一部、場合によっては天羽高校も活用していきたい。小中学生がともに過ごすことをプラスにしていきたい。

保護者	野球場はどこを使うのか。
須藤主幹	湊小のグラウンドと天羽中のグラウンドを野球部とサッカー部でローテーションをするなど工夫していく。
保護者	体育祭はどうするのか。
須藤主幹	陸上競技場や天羽高校グラウンドなどを含め検討していきたい。中学生にふさわしい活動場所を検討していく。
保護者	建設期間中に統合を行い、天羽東中を活用できないのか。環小も一緒になるという前提でできないのか。
今井課長	天羽東中は普通教室が6教室有り、特別支援学級もあるので4教室使う。残りは2教室であり、天羽中は普通学級6クラス、特別支援学級2クラス、適応指導教室1クラスで9教室必要である。教室数が不足しておりプレハブを造らないと対応できない。
保護者	環小を統合して環小を使うのはどうか。
今井課長	今のところは複式学級の解消が基準なので、環小は考えていない。関豊小、環小の統合時も3年かかった。1年で統合するのは難しい。
保護者	案だが、先を考えて他の場所に小中一貫校を作った方がよいのでは。
鶴岡課長	大規模改修も含めて検討してきたが、今の校舎の状況等を考えると早急な対応が必要であり、体育館や武道場など有効活用できるものは使用していく。今の場所は教育環境としては悪くない。道路の幅など整備を行っていく。駅からも近いので今の場所で考えている。
保護者	湊小の場所に環小も含めた小中一貫校を作れないのか。
鶴岡課長	湊小は18,000m ² 、天羽中は32,000m ² であり、今の湊小の場所では狭く、対応ができない。
保護者	時間がかかっても他の場所でという考えはないのか。
鶴岡課長	用地買収などがスムーズにできても7年はかかる。何年も前から雨漏りやコンクリートの剥離などがあり、長期では考えにくい。
保護者	しつこいようだが、環小も湊小に入れてほしい。環南、関豊と順次にやったときは大変であった。また、中学進学時に環小だけ加わることは子どもの負担になる。
今井課長	環小はまだ複式ではない。小学校1年生の登下校の時間を考えると負担が大きい。保護者や地域の方の考えを含めて検討していきたい。PTAとしての考えをまとめてもらえるとよい。
保護者	環小のPTAで「どうしたら湊小と一緒にになれるか」という意見が出た。

今井課長	来年度、P T A役員等にも意見を伺いに来ます。
能城部長	7. 閉会の言葉